

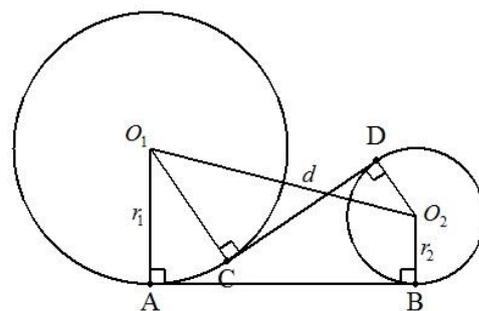
三平方の定理と円 (中心 O , 半径 r の円を $O(r)$ で表す。)

① 2 円 $O_1(r_1), O_2(r_2)$ について, 2 円の中心距離を $d (> r_1 + r_2)$ とすると

$$\text{共通外接線の長さ: } AB = \sqrt{d^2 - (r_1 - r_2)^2}$$

$$\text{共通内接線の長さ: } CD = \sqrt{d^2 - (r_1 + r_2)^2}$$

◎三平方の定理より得られる。

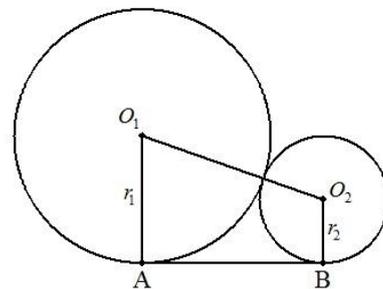


② 外接する 2 円 $O_1(r_1), O_2(r_2)$ について, ($d = r_1 + r_2$)

$$\text{共通接線の長さ: } AB = 2\sqrt{r_1 r_2}$$

◎①で, $d = r_1 + r_2$ の場合

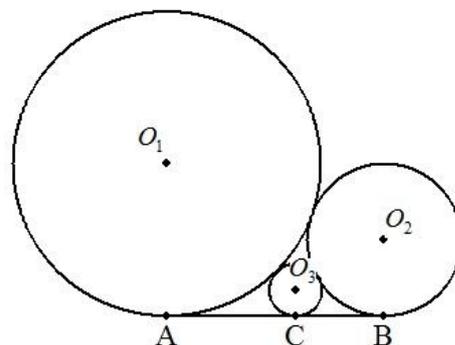
$$AB = \sqrt{d^2 - (r_1 - r_2)^2} = \sqrt{(r_1 + r_2)^2 - (r_1 - r_2)^2} = \sqrt{4r_1 r_2} = 2\sqrt{r_1 r_2}$$



③ 外接する 2 円 $O_1(r_1), O_2(r_2)$ の共通接線の接点を A, B とする。
AB に接して 2 円に外接する円を $O_3(r_3)$ とすると,

$$\frac{1}{\sqrt{r_3}} = \frac{1}{\sqrt{r_1}} + \frac{1}{\sqrt{r_2}}$$

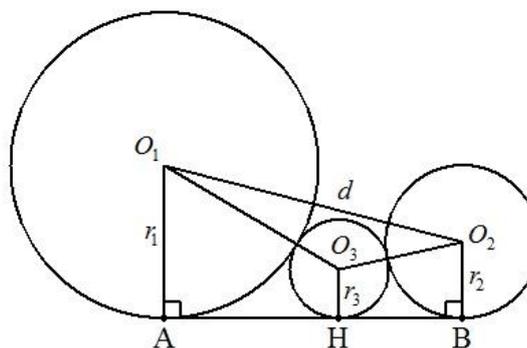
◎ $AB = 2\sqrt{r_1 r_2}$, $AC = 2\sqrt{r_1 r_3}$, $CB = 2\sqrt{r_3 r_2}$ を $AB = AC + CB$ に代入し, 両辺を $2\sqrt{r_1 r_2 r_3}$ で割ると得られる。



④ 2 円 $O_1(r_1), O_2(r_2)$ について, 2 円の中心距離を d , 共通外接線との接点を A, B, AB に接して 2 円に外接する円を $O_3(r_3)$ とすると,

$$r_3 = \frac{d^2 - (r_1 - r_2)^2}{4(\sqrt{r_1} + \sqrt{r_2})^2}$$

◎ $AB = \sqrt{d^2 - (r_1 - r_2)^2}$, $AH = 2\sqrt{r_1 r_3}$, $HB = 2\sqrt{r_3 r_2}$ を $AB = AH + HB$ に代入し, 両辺を $2(\sqrt{r_1} + \sqrt{r_2})$ で割ると得られる。



⑤ 外接する 2 円 $O_1(r_1), O_2(r_2)$ と共通外接線 AB に接する円を $O_3(r_3)$ とし, さらに 2 円 $O_1(r_1), O_3(r_3)$ と AB に接する円を $O_4(r_4)$ とする。こうして次々と連結する円 $O_n(r_n)$ をつくる。このとき,

$$\frac{1}{\sqrt{r_n}} = \frac{n-2}{\sqrt{r_1}} + \frac{1}{\sqrt{r_2}} \quad (n \geq 3)$$

←③の公式から得られる。

